

# 男女共同参画NEWS

## 第7回 森わさ賞 候補者募集

学校法人神戸学院は2022年に創立110周年を迎えました。そして神戸学院大学は2026年に60周年の節目を迎えようとしています。本法人の原点である私立森裁縫女学校の創立（1912（明治45）年）理念は、「艱難にくじけず自活していける女性」と「真に社会に役立つ人間」の育成にありました。神戸学院大学では、校祖森わさ先生の志を継承し、本学の建学の精神「真理愛好・個性尊重」に基づき、研究、教育又は社会における活動において優れた功績をあげた女性の教職員・卒業生・修了生を表彰します。

- 対象 ・本学の専任教職員もしくは卒業生・修了生で、研究、教育又は社会における活動のいずれかにおける功績が認められる女性の方  
 ・自薦/他薦\*、年齢は問いません  
 ・原則として1名を表彰します

\*推薦者は本学専任教職員および卒業生・修了生に限りません

表彰 賞状および副賞(記念品)の授与

応募方法 男女共同参画推進室HPから推薦書をダウンロードのうえ、PDF ファイルにしてメールでお申し込みください

〆切 2025年11月28日（金）15:00

男女共同参画推進室 ☐ danjokiyodo@j.kobegakuin.ac.jp

募集



## FORUM

2025年10月3日(金)11:15~開催 参加者、大歓迎!

総合リハビリテーション学部

第8回

男女共同参画

サイエンスフォーラム

男女共同参画サイエンスフォーラムでは、理系進学支援として、理系分野で活躍している女性研究者の方をお招きし、これまでのキャリアやご専門についてのお話を伺っています。今年度は、2025年4月に総合リハビリテーション学部に着任された小坂菜生先生、見須裕香先生にご登壇いただき、佐野光彦学部長と一緒に話を伺います。

本学の方はどなたでもご参加いただけます

- 日時 2025年10月3日（金） 11:15-12:45
- 場所 有瀬キャンパス 151 | 講義室
- 〆切 2025年 9月26日（金）
- お申込み、お問い合わせ

男女共同参画推進室

☐ danjokiyodo@j.kobegakuin.ac.jp

QRコードから、または男女共同参画推進室までメールでお申し込みください。



## 活動報告

2025年度神戸学院大学 男女共同参画週間記念

24

June

## 男女共同参画フォーラム

VAL21(兵庫県経営者協会 女性部会)との協働による男女共同参画記念フォーラムを開催し、「多様性と共に成長する一経験から学ぶ、これからの働き方のヒント」と題して、約70人の学生や教職員が参加しました。

VAL21について「女性活躍を通じた県内企業の活性化、働く女性の意識・地位向上、県内で働く女性につながる場の提

供などを目的に活動しています」と紹介したのち、企業からのパネリストにご登壇いただき、女性が活躍する企業における女性活躍・働き方改革の取り組みと、働くこととジェンダーの関係についてお伺いしました。



神戸学院大学 活躍する女性セミナー

27

June

いのちの力は、0歳から育てられる

一生きる力を育む排泄と性教育のはなし

株式会社りぼん代表取締役の大原万里亜さんを講師に迎え、「いのちの力は、0歳から育てられる一生きる力を育む排泄と性教育のはなし」という演題でご講演いただきました。



発達状況も様々な障がいのある児童や生徒とのかかわりを通して「生きる原点を学んだ」ことに関する話や、公に語られることの少ない生理について、また布おむつを使用して子どもの快・不快の感覚を育てることの大切さなどについて話されました。講演の最後は、学生に対して「人生を面白くするのは情熱と人との出逢(あ)いです」「自分の生きる力を感じて」との熱いメッセージで締めくくっていただきました。

## 男女共同参画

### ランチタイムミーティング

30

June

ゲストにボルドー・モンテニュ大学の木下裕美子先生をお迎えし、教職員9名の参加で開催しました。木下先生からは、フランスにおける研究・教育、さらには日常生活まで幅広いお話を伺いました。

特に、日本とフランスの学会発表や研究の進め方の違いが印象的で、日本ではスライドを綿密に準備する一方、フランスでは言語表現を重視し、視覚的資料をあまり用いない傾向があるとのことでした。また、地域ごとの文化や生活環境の違い、留学経験や現地学生との交流、医療制度の不便さや日常生活での苦勞なども語られました。

研究・教育の枠を超え、異国で働き暮らすことの課題と豊かさを考える貴重な機会となりました。

## 活躍する卒業生セミナー

～第6回「森わさ賞」受賞者をお迎えして～

15

July

第6回「森わさ賞」受賞者の牧明奈さん（2005年経済学部卒）に「誰かのため」が“自分の未来”になる、誇りある日本の未来」という演題でご講演いただきました。

日本では中小企業の経済的役割は大きく、地域との関係は密接だという説明で始まり、「中小企業は地域の顔であり、日常生活で見過ごされている製品こそ中小企業が作っていることが多いのです」と牧さんは述べました。学生へのメッセージとしては、「美しい国にっぽん」に共鳴し、地方の伝統的な文化を企業が守り、地域を活性化したいとの希望を語りました。また、「世界は、誰かの仕事でできている」ことを忘れずに、「もっと美しくもっと誇れる国にするために、思いきり突き進んでほしい」と呼びかけました。



## 神戸学院大学

### ダイバーシティ・セミナー

KAC

18

July

KPC

22

July

ダイバーシティのための

## コミュニケーション・レッスン

自分を知らう・話してみよう

多様性への理解を深めることを目的に、男女共同参画推進室とハラスメント相談室が協働してダイバーシティ・セミナーを開催し、共通教育科目「男女共同参画推進論」の受講生ほか、申し込みのあった教職員・学生を含め、両日合わせて約200人が参加しました。セミナーでは、近年「日常の中の見えにくい差別」として注目されているマイクロアグレッション概念の紹介と、具体的な事例から実際のコミュニケーションを考えるワークを行いました。講師らは、自分自身の無意識の偏見に気づくことは大変なことではあるが、それでもやはりマイクロアグレッションをなくしていくために、マジョリティができることを少しずつ実践してみようとお話しました。

ご意見を  
お寄せ  
ください

職場のこと、育児・介護との両立のこと、男女共同参画にかかわるなんでも、日々感じておられることについてぜひご意見をお聞かせください。今後の取り組みの参考にさせていただきます。匿名でも送信していただけます。

## 2025年度 神戸学院大学 Aug. 男女共同参画キャッチフレーズ

男女共同参画キャッチフレーズ最優秀賞・優秀賞が決定し、表彰式が開催されました。

2025年度は、全438作品の応募のなかから、学長を委員長とした選考委員会によって次の3作品が選ばれました。男女共同参画の広報・啓発活動に使用されます。

### 👑 最優秀賞

- 「幾万通りのRPG ～君はどの物語の主人公？～」  
鳥山ヨーコさん (PN) (教職員)

### 優秀賞

- 「選べる未来、変えられる今。」  
玄輝隆さん (法学部4年次生)
- 「私たちの個性と夢は、社会の彩り」  
松尾 采苗さん (総合リハビリテーション学部2年次生)

男女共同参画推進室 ダイバーシティ勉強会 第4弾

## 介護 ワークショップ

27

Aug.

「老いと演劇」を掲げて活動する劇作家・演出家で俳優でもある菅原直樹さんを招いて、ポートアイランド第1キャンパスのアクティブ・スタジオで介護ワークショップを実施しました。「介護」に関心を持つ教職員と学生約20人が参加、遊びとりハビリテーションを組み合わせ「遊びリテーション」をはじめとしたゲームを体験しました。

菅原さんは高齢者のありのままを受け入れることの大切さについて、また「介護現場でケアする人は、実は演技をしている」と述べられ、「認知症の人とは自尊心を大切にしたい関わり方を。それが時には演技という手法になります」とまとめました。



## ライブラリー 新着図書のご紹介！

【新着図書】

- 『BLと中国』周密著
- 『anan 女性のための防災BOOK』
- 『線場のひと』上・下 小宮りさ麻史奈著
- 『お寺に嫁いだ私がフェミニズムに出会って考えたこと』  
森山りんこ著 他



男女共同参画推進室では、「男女共同参画白書」はもちろん、女性学・男性学、働き方・WLB、子育てや介護などの書籍やDVDを揃えています。本学所属の方はどなたでもご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

▼本棚はこちらから▶ <https://booklog.jp/users/kobegakuindanjo>

神戸学院大学 男女共同参画推進室  
ポートアイランド第1キャンパス D号館4階  
住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3  
TEL 078-571-0927 (直通)  
mail danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp

